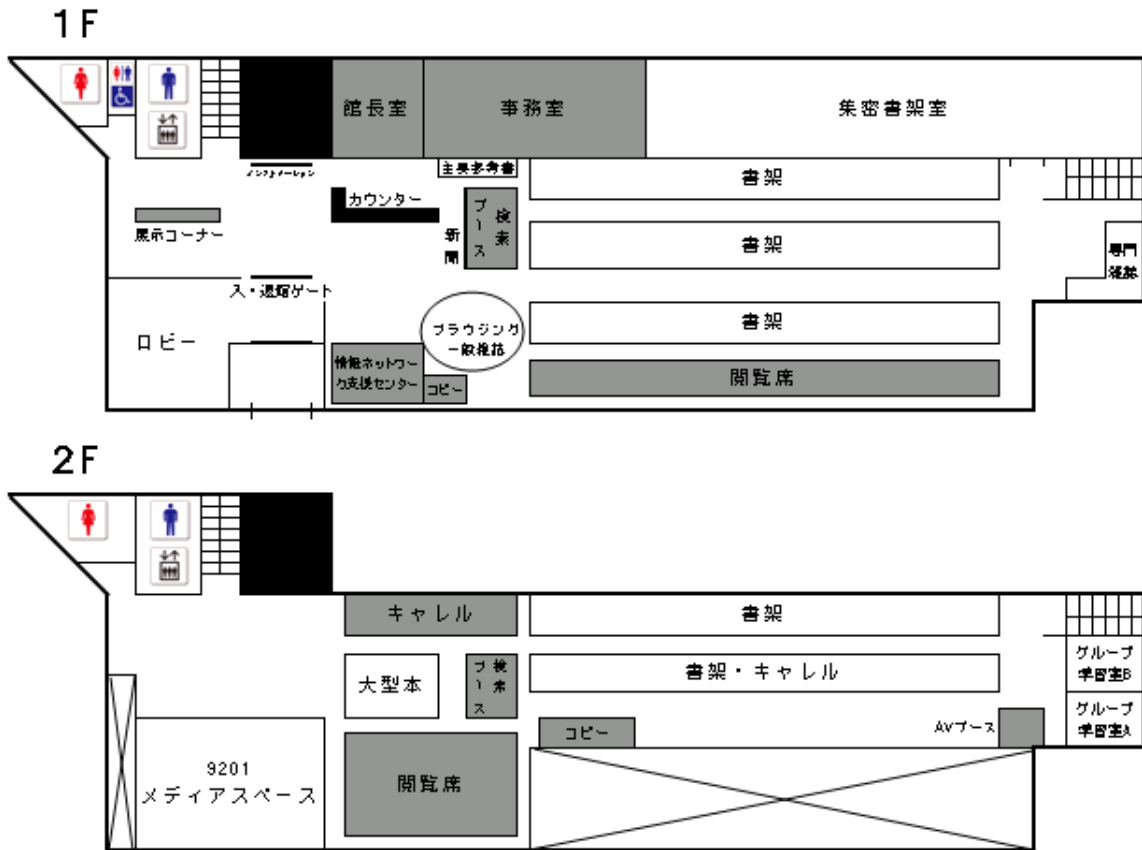


図書館

本学図書館は、「東京成徳学園十条台キャンパス図書館」と呼称されている。図書館は、「東京成徳大学子ども学部・経営学部」及び「東京成徳短期大学」の二つの高等教育機関における研究・教育・学習に必要な図書・学術雑誌・視聴覚その他の資料の収集・整理・保存を目的に設置されており、当該両教育機関の学生及び教職員の利用に供すると共に、教育・研究の発展に寄与することを基本方針としている。

1. 全体の配置図



【開館時間】

月曜日～金曜日 8:50～19:00 土曜日 8:50～14:00
変更の際は、その都度掲示及びホームページでお知らせします。

【休館日】

日曜日、国民の祝日、学園創立記念日(11月26日)、資料整理期間
※休業中及び臨時休館などについては、その都度掲示及びホームページでお知らせします。

2. 座席数

座席数は、1階に閲覧席60席(4人掛テーブル15台)、2階に閲覧席32席(4人掛テーブル8台)、閲覧席28席(キャレル:個別デスク)、グループ学習室16席(2室各8席)、メディアスペース64席があり、合計200席となる。

表 図書館概要

図書館の名称	面積(m ²)			学生 閲覧室の 座席数(a)	学生 収容定員 (b)	収容定員に 対する座席 の割合 a/b*100	その他の 学習室の 座席数
	全体	閲覧 スペース (内数)	書庫 スペース (内数)				
東京成徳学園十条台 キャンパス図書館	2,323.72	1,239.70	230.77	120	1,330	9.02%	80

3. 年間図書館予算

平成 22 年度の図書館年間予算は、19,700,000 円であり、その内、東京成徳短期大学の予算が 7,500,000 円(表Ⅲ3-1)、東京成徳大学子ども学部の予算が、4,000,000 円、経営学部の予算が 8,200,000 円であった。平成 23 年度の図書館年間予算は、18,700,000 円であり、その内、東京成徳短期大学の予算が 6,500,000 円(表Ⅲ3-1)、東京成徳大学子ども学部の予算が、4,000,000 円、経営学部の予算が 8,200,000 円となっている。図書館年間予算は平成 23 年度が前年度より 100 万円の減となっている。

表Ⅲ3-1 図書館年間予算の内訳

	内訳	平成 22 年度	平成 23 年度
東京成徳短期大学	図書購入費	5,000,000	4,500,000
	紀要印刷製本費	2,500,000	2,000,000
	A 総計	7,500,000	6,500,000
東京成徳大学 子ども学部	図書購入費	4,000,000	4,000,000
	特別費	0	0
	B 総計	4,000,000	4,000,000
東京成徳大学 経営学部	図書購入費	7,500,000	7,500,000
	紀要印刷製本費	700,000	700,000
	C 総計	8,200,000	8,200,000
A+B+C (図書館年間予算)		19,700,000	18,700,000

4. 購入図書等選定システム

図書選定は図書館の基本方針に従い、学科、教職員、図書館運営委員会等の推薦および学生のリクエストによって行われている。基本的な専門資料と授業に関わる資料の収集が重視されている。

5. 図書等廃棄システム

図書の不用決定及び廃棄に関しては、所定の規程に従って図書館運営委員会で審議され、図書館長が決定する。

6. 図書館に携わる構成員

図書館長1名（兼任）、図書館運営委員会7名（兼任※館長含む）、図書館司書2名（専任）、非常勤4名となっている。

7. 情報化の進捗状況

平成15年以降、図書の収集・所蔵・管理・貸出といった通常業務に加え、情報の生成・発信・検索システムの電子化といった本学の総合情報館としての機能を構築し、発展させていく試みに取り組んでいる。館内全域が無線LAN対応となっており、閲覧用のテーブルとキャレルには有線LANを設置している。さらにOPAC検索専用のパソコンを6台設置し、学生がOPAC及び各種データベースを自由に検索できるようなシステムを構成している。

平成23年4月から図書館内に「情報ネットワーク支援センター」設立され、パソコンやインターネットを始めとする情報ネットワークのサポートを行っている。

表Ⅲ3-2 図書館情報システム

種別	内容
図書館システム	LIMEDIO（リコー）
OPAC 検索専用パソコン	6台（1階4台、2階2台）
DVD ビデオCD プレーヤー	2台（グループ学習室）
DVD/CD カセットプレーヤー	1台（個人用ブース）
ビデオCD カセットプレーヤー	1台（個人用ブース）
貸出用ノートパソコン *平成23年度より「情報ネットワーク支援センター」に移行	10台（館内貸出利用）
有線LAN	閲覧用テーブル・キャレルに設置
無線LAN	全館対応

本学図書館の特徴としては、貴重な和漢書、幼児教育および子ども学、経営学に関わる図書資料が多数所蔵されており、その内容も充実している点が挙げられる。蔵書数の詳細は表Ⅲ3-3を参照されたい。

特に記しておきたいのは、「東陵文庫」である。この文庫は、本学名誉教授及び東京教育大学名誉教授であり、皇孫愛子内親王殿下のご命名の勸申に携わった鎌田正先生より本学に寄贈された蔵書を整理し目録化するとともに、先生の号に因んで「東陵文庫」と名づけ図書館に収蔵してある。本文庫は和刻本、漢籍、洋装本からなり、総数は974点、冊数にして約3,000冊にのぼる。平成18年度は、特別予算50万円の配分を受けて和刻本と漢籍の電子化を行った。特に和刻本の中から4点を全文画像化し、他の資料は刊記を画像化した。平成19年度より図書館ホームページで公開している。研究者からの問い合わせも寄せられている。

表Ⅲ3-3 蔵書数一覧（平成22年度）

図書館の名称	図書の冊数(冊)		定期刊行物の種類		視聴覚資料の蔵書数	電子ジャーナルの種類	データベースの契約数	備考
	図書冊数	開架図書の冊数	内国書	外国書				
東京成徳学園十条台 キャンパス図書館	131,272	131,272	135	12	380	0	7	大学分を含む
	(125,819)	(125,819)	(42)	(1)	(351)	(0)	(1)	(短大内数)

8. 授業に関連する参考図書の整備状況

授業関連の参考図書は、常に学生が閲覧できるように図書館内の一角に「主要参考書」としてコーナーを設けている。また、各授業に係る分野および基本的な参考図書はできる限り最新版を揃え、分類ごとにわかり易く配架している。

9. 学生用一般図書等の整備状況

各科で打ち出している「教育図書購入基本方針」に則って、毎年、学生のニーズに合わせて資料を検討・吟味し、収集を行っている。一般教養的な資料や学生からのリクエストについては、週1回の選書会議で検討し、大学図書館として必要な資料を整備している。

10. 学生の図書館利用促進への取り組み

図書館では学生の図書館利用を活性化する対策の一環として、4月のオリエンテーション期に新生を対象とした学科・クラスごとのオリエンテーションを実施している。また、それとは別に「学生選書ツアー」や平成22年度は「読書スタンプラリー」等を企画し、学生の図書館利用促進に向けて、学生のニーズに応えた図書収集の充実を図っている。

表Ⅲ3-4 入館者数及び開館日数（平成22年度）

図書館の名称	開室日数		年間利用実績		開室時間	備考
	週当たり	年間	学内	学外		
東京成徳学園十条台 キャンパス図書館	6	265	35,544	10	平日 8:50～19:00 土曜 8:50～14:00	

11. 図書館等からの学内外への情報発信

学内外への広報活動の一環として「図書館だより」を年2回発行し、様々な企画や特集及び関連記事、また図書館からのお知らせや新着図書案内などを掲載し、学生や関係者の便宜を図っている。その他にも、図書館により親しみを持ってもらうための試みとして、各種展示を行っている。

図書館のホームページは、定期的リニューアルし、「図書館からのお知らせ」・「利用案内」・「開館スケジュール」や「図書館だより」、「紀要」などを載せている。また、「新着情報」としておすすめの資料を紹介している。これは、教職員による資料紹介のコーナーで、学生に図書館に来て読書に親しんでもらうために企画したものである。「紀要」の論文を閲覧した外部の図書館等からの問合せも寄せられている。

12. 他の図書館等との連携

高度情報化社会では、本図書館だけの資料収集・保存能力には自ずと限界がある。他大学・他機関との相互協力が不可欠である。そのため、本学園に属する東京成徳大学人文学部・応用心理学部図書館（千葉県八千代市）及び東京成徳大学人文学部・応用心理学部図書館分室（東京都北区）と相互利用協定を結び、様々な図書館利用サービスの提携を行っている。

さらに、先に述べたように、学術情報の処理・提供システムとして、書誌・所蔵資料の検索のためにOPACを構築しており、国立情報学研究所のオンライン総合目録データベースにも参加している。また、東京都私立短期大学協会コンソーシアムにも参加し、各大学図書館間で相互利用を行い、教育・研究活動の活性化及び利用者サービスの向上に努めている。

13. 現在の図書館活動の評価

本学図書館は、昭和40年の東京成徳短期大学発足と時を同じくして開設されたが、平成15年1月にキャンパスの拡大に伴う新校舎完成により新たに独立した図書館棟として現在の位置に設置され、同年4月に開館した。図書館は、斬新で環境にマッチしたデザインと明るい外観という評価により、平成17年に東京都北区の第2回景観賞を受賞した。学生達にも使いやすい、気持ちのよい設備として好評を博している。

学生及び教職員の教育的ニーズに応える図書の提供を図るとともに、ホームページの発信や電子アーカイブの構築等、本学の総合情報館としての機能を果たしている。今後、蔵書の充実や時代に対応した視聴覚資料の充実が課題となる。さらに図書館利用促進を図るとともに学内外との協力体制を充実していきたい。